

毎年4月2日～8日は「発達障害啓発週間」

2007年12月の国連総会において、毎年4月2日を「世界自閉症啓発デー」(World Autism Awareness Day)と定めており、全世界の人々に自閉症について理解してもらう取り組みが行われています。

日本でも、自閉スペクトラム症をはじめとする発達障害について、広く啓発する活動を行っていますが、「毎年4月2日～8日」を発達障害啓発週間として、国内各地で発達障害に関するシンポジウム等の活動が行われていました。

発達障害で悩んでいる方々とともに、学校や職場で共生することは、ごく当たり前のことですが、発達障害に関する理解や知識が薄いゆえに、相互での誤解や誤認があり、生活のしづらさが指摘されています。

発達障害について知ること、理解することは、誰もが幸せに暮らす上で大切なことです。発達障害に関して職場内での困りごとの相談体制を設けたい、専門医療機関を知りたいなどのご相談はMRC札幌までお気軽にお問合せください。

【主な発達障害について】

「自閉スペクトラム症」：対人関係が苦手・強いこだわりといった特徴をもつ発達障害の一つです。近年では、早ければ乳幼児健康診査でその可能性を指摘されることがあります。

「ADHD（注意欠陥・多動症）」：多動性（過活動）や衝動性、また不注意を症状の特徴とする神経発達症もしくは行動障害です。

